

第1回 9月1日(月) 琵琶湖とともに生きる:持続可能な関係を求めて

(理事長・学長 井手 慎 司)

琵琶湖をめぐる「治水」「利水(開発)」「保全」の歴史をたどりながら、湖とともに生きるための持続可能な関係の在り方を考えます。

<https://forms.gle/wZx9uPNKQo6HzZHc9>



第2回 9月8日(月) 日々の暮らしに根ざした高分子材料

(工学部 教授 金 岡 鐘 局)



レジ袋など身近なものから、非常に高強度の材料、また電子機器に使われる電気を通す材料など、高分子は人々の暮らしに欠かせないものとなっていることを紹介し、環境との関わりについても考える機会にしたいと思います。

<https://forms.gle/EFVBX8VkQNPpXRUb8>

第3回 9月9日(火) 貼り紙で注意しても効果がないのには理由がある ～「効果」で探るデザイン～

(人間文化学部 准教授 山 田 歩)

「歩きスマホ禁止」、「節電しましょう」など。街中には看板や貼り紙があふれていますが、あまり効果があがっていないように見えます。何がうまくいっていないのでしょうか。この講義では、こうした「いまいち」な貼り紙や日用品などのデザイン物を取り上げ、うまくいっていない理由と改善策をデザイン学の観点から考えていきます。

<https://forms.gle/WPXmrDSshmXbLMes9>



第4回 9月18日(木) 高齢者の肺炎予防

(人間看護学部 教授 岡 本 紀 子)



肺炎、誤嚥性肺炎は我が国の死因の第5位、第6位となっています。そして、これらの患者数は年齢が高いほど多くなっています。

肺炎、誤嚥性肺炎を予防するために、暮らしの中でできることなどを紹介いたします。

<https://forms.gle/LurnezX6E14LctdF8>

第5回 9月19日(金) 湖国の占領:GHQの保養地としての湖畔

(環境科学部 准教授 玉 田 浩 之)

戦後日本はGHQの統治下に置かれました。滋賀も占領軍を受け入れることとなりますが、当時の様子を振り返ると、彼らが滋賀をリゾート地として注目していた事実気づきます。行政資料等からGHQによる土地建物の利用状況について読み解きます。

<https://forms.gle/qayJtmujLVVNxwzd8>



← オンデマンド配信ご希望の方

<https://forms.gle/i7KWghgZSgwTYTA6A>